



入稿できるデータ、できないデータ

CONTENTS

- 入稿できるデータ、できないデータ P1
- イラストレーターでのデータ入稿について P2-P3
- リンク画像について P4
- 制作フォルダの作成方法 P5
- 画像の「埋め込み」と「リンク」の違い P5
- フォトショップでのデータ入稿について P6
- 断ち切り線にご注意下さい！ P7
- 入稿前に再度確認！ P8

●本書のアイコンについて●

イラストレーターについての記載には  マーク、
フォトショップについての記載には  マークが付いています。

入稿できるデータ

●イラストレーター (Illustrator) で制作したデータ



●フォトショップ (Photoshop) で制作したデータ



- ・バージョンは問いません。
- ・レイヤーはなるべく統合したうえでご入稿ください。

★ご制作後、各見開きページごとにプリントアウトし、カンパ (出力見本) をデータと一緒に必ずお送り下さい。
(印刷時に仕上がり確認用として使用いたします)

入稿に対応していないデータ

※ワード、エクセル、パワーポイントや、その他のフリーソフトのデータは入稿に対応しておりませんので、ご注意ください。

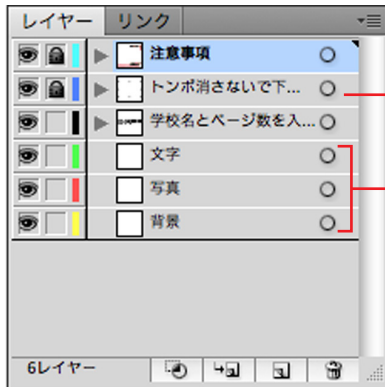
イラストレーターでのデータ入稿について

●イラストレーターデータは必ず **CMYK** で作成して下さい。

リンクされている画像はRGBかCMYKどちらでも結構ですが、印刷工程でCMYKに変換するため、RGBのままでご入稿されますと色味が若干異なる仕上がりとなりますことをご了承下さい。

●データ制作用のCDに入っている「**テンプレート**」または「**デザインテンプレート**」を必ずご利用下さい。

- トンボ、文字、写真、背景のレイヤーがありますので、それぞれレイヤーを分けて制作して下さい。(レイヤーは増やしても大丈夫です)
- テンプレートデータにあるガイドラインは消さないで下さい。
- トンボの位置や、アートボードのサイズも変更しないで下さい。(レイヤーにロックをかけておくと便利です)
- テンプレートは必要なサイズになっています。(サイズは変更しないで下さい)



トンボレイヤーは絶対に消さないで下さい。

それぞれのレイヤーで制作して下さい。
(レイヤーは増やしても大丈夫です)

●配置した画像をイラストレーター上で拡大する場合、**最大140%**までにして下さい。

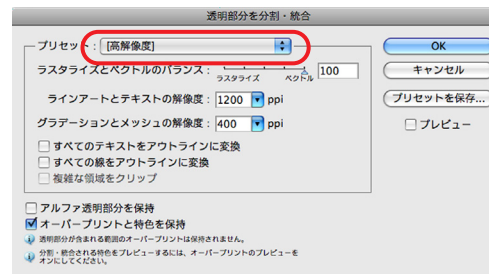
キレイに印刷するためには、画像は原寸サイズで350dpiが必要です。
140%以上拡大しますと写真が荒くなって印刷される可能性があります。

●スウォッチを使用した場合は、スウォッチを使用しているオブジェクトの「**分割・拡張**」を行って下さい。

背景パターン等をスウォッチから使用した場合、使用したオブジェクトを選択して、メニューバーからオブジェクトの「分割・拡張」を選択し「OK」を押して下さい。
※パターン等、分割・拡張を行わないと印刷用出力機で変換する際、ズレたり、正しく表示されない場合があります。



●CS以上のバージョンで透明機能等をご使用の場合は「**透明部分を分割・統合**」してプリセットを『**高解像度**』にして下さい。



- ①メニューバーからオブジェクトの「透明部分を分割・統合」を選択。
- ②プリセットを「高解像度」にする。

※透明部分をきれいに印刷するためには「高解像度」設定にする必要があります。

●入稿時、文字は全て**アウトライン化**して下さい。

最後に書類情報でアウトライン化されていない文字がないかどうか、フォント検索をして必ずご確認下さい。
(アウトラインを取られていないと別の書体に置き換わってしまう恐れがあります)

リンク画像について



- あらかじめ大きいサイズで撮影した画像をご使用下さい。

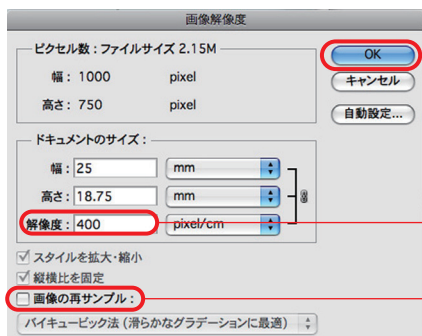


元データが小さいサイズでは、フォトショップで解像度をあげても、データが重くなるだけで写真の荒さ(画質)は変わりません。

- リンクする画像の解像度は**350dpi**で保存したものをご使用下さい。



画像のサイズは原寸サイズ(実際にアルバムに使われるサイズ)で350dpiの解像度が必要です。フォトショップで350dpiに変換する際は、「画像の再サンプル」のチェックは必ず外して下さい。



③「OK」を押して保存する。

②解像度を「350」にする。

①画像の再サンプルのチェックを外す。

- リンク画像は必ず**JPEG形式**にして下さい。

ファイル名には必ず**拡張子(.jpeg)**を付けて下さい。



※透過画像は psd もしくは png 形式で問題ございません。

- 画像のファイル名は必ず**半角英数字**で付けて下さい。

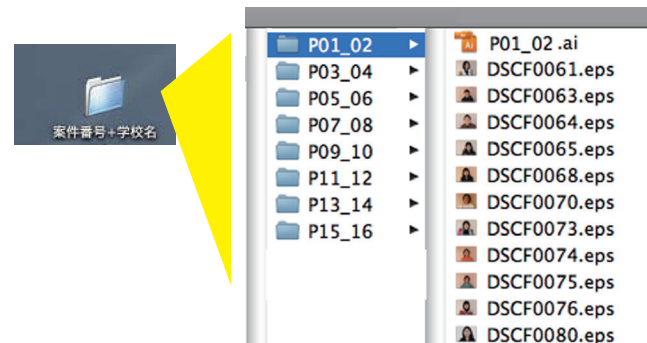


全角の日本語、全角英数字、()、①などの記号、スペースは使わないで下さい。また、ファイル名、フォルダ名は**拡張子を含めて 10 文字以内**にして下さい。それ以上になりますと、文字化けする可能性があります。

制作フォルダの作成方法



原稿は必ず見開きページごとにフォルダを分け、イラストレーターデータ(ページ原稿)と一緒に、そのページにリンクされている画像を必ず同じフォルダに入れて下さい。



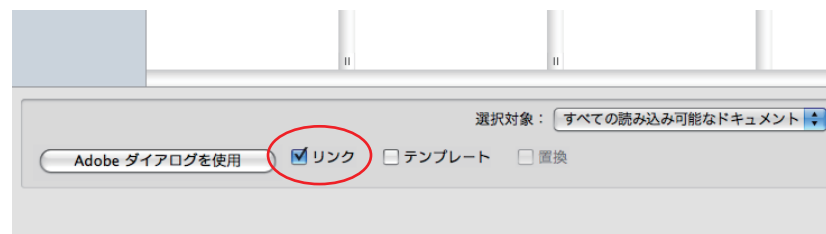
このようにページごとにフォルダを分け、イラストレーターファイル(ai)と、その中にリンク配置した画像ファイル(eps)を入れて下さい。

画像の「埋め込み」と「リンク」の違い



画像を配置する際に、ファイル→配置で画像をセレクトするウィンドウの下部に「リンク」「テンプレート」「置換」というチェック項目があります。その「リンク」にチェックが入っていないと画像は自動的に「埋め込み」になってしまいます。

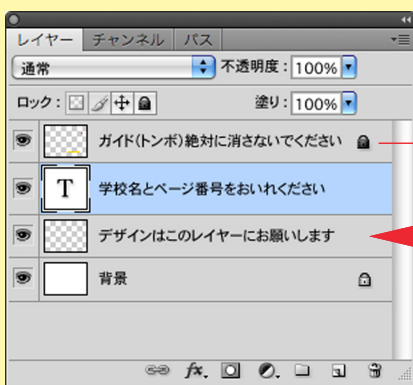
画像が「埋め込み」になっていても印刷上特に問題はありませんが、データが非常に重くなってしまう事と、1枚1枚の画像の明るさなどが補正できません。必ず配置画像は「**リンク**」にして、制作してください。



フォトショップでのデータ入稿について



- 見開きテンプレートデータ (psd形式) をお送りしますので、そのデータ上で制作して下さい。
(トンボレイヤーを一番上にしておくと作業がしやすいです)
- データが出来上がりましたら、jpeg形式で保存して下さい。
(統合していないpsdデータですと文字化けしてしまい、フォントが変わってしまう可能性があります)
- 色補正などは当社では行っておりません。
(暗い画像等は事前に補正をお願いします)
- 解像度は実寸で350dpi で制作して下さい。
(テンプレートのサイズや解像度は変更しないで下さい)
- 出力見本を必ずつけて下さい。



一番上のガイドレイヤーは絶対に消さないで下さい。

このレイヤーに画像をレイアウトして下さい。

制作が完了しましたら、レイヤーを必ず全て統合して、JPG もしくは EPS で保存して下さい。

(あとで修正が発生したときのために統合していないデータはお客様個人で保管しておく安心です)

トンボについてはイラストレーターでご制作される場合と同様です。
基本的にデータ入稿は当社での手直し修正はいっさい行いませんので、完全データでのご入稿をお願いいたします。

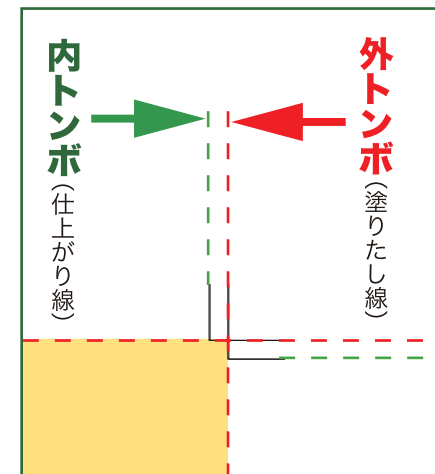
※なお、出力見本およびモニター上でご確認いただいている色目と仕上がりは、紙質・印刷方法が異なるため、全く同じ色にはならないことをご了承下さい。

断ち切り線にご注意下さい！



～トンボについて～

製本時に「内トンボ」で断ち切りになりますが、内トンボギリギリで制作してしまうと、断裁時にデータのない白い部分が見えてしまうことがあります。
必ず、外トンボまで塗り足しを入れて下さい。
ただし、内トンボで断裁されてしまうため、切れてはいけない文字や画像は内トンボより内側に配置して下さい。



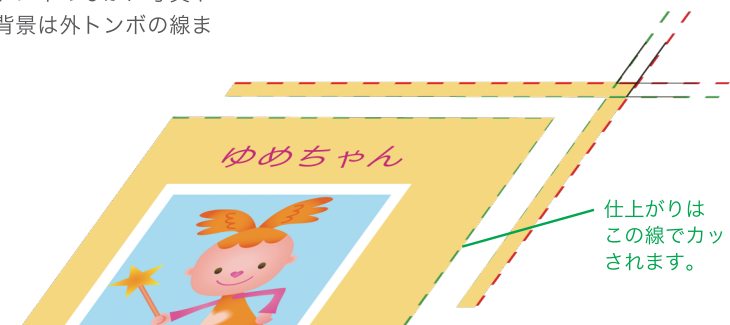
背景画像や背景色は必ず、外トンボまで入れる。



大事な文字や写真は内トンボ内におさめる。

写真を断ち切りにする場合は外トンボまで入れる。

こんな感じ。内トンボのなかに写真や文字を入れて、背景は外トンボの線まで入れて下さい。



仕上がりはこの線でカットされます。